直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ:次回配信日は8月8日(金)となります

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

## ≪牛乳類は2週ぶりに前年超え～8月からの価格改定の影響を注視≫

### 【牛乳類の販売動向】

●7/21週の牛乳類4品目の合計販売個数は、2週ぶりに前年同週水準を上回った。7月19日に東日本でも梅雨明けとなり、全国的に記録的な高温が観測されたことで飲用消費が押し上げられたと推察される。

●牛乳類の内訳を見ると、牛乳が2週ぶりに前年超えとなった一方で、成分調整牛乳は29週連続、加工乳が21週連続、乳飲料は2週連続で前年水準を下回った。ただし、3品目はいずれも前年同週比の減少率が縮小している。

●7月30日には、太平洋側を中心に広い地域に津波警報が発令された影響でほくれん丸が欠航しているが、夏休み期間中で学校給食用向け牛乳が休止している時期ということもあり、現時点では需給に大きな混乱は確認されていない。

●8月以降、牛乳類は飲用等向け乳価改定に伴い、製品価格の値上げが実施される予定である。値上げの影響による消費の落ち込みを最小限に抑えるためには、酪農乳業関係者がより多くの関係者に対して需要拡大の必要性を発信するとともに、業界内で課題意識を共有し、個々の取り組みが相乗効果を生むような連携を図りながら、実需につながる効果的な施策を業界一体となって推進していくことが重要である。

### 【発酵乳の販売動向】

●はっ酵乳の3品目の合計販売個数は、2週連続で前年同週水準を下回った。内訳を見ると、ドリンクタイプは15週連続、個食タイプは18週連続で前年割れとなったものの、いずれも前年同週比の減少幅は縮小した。一方、大容量タイプは47週連続で前年実績を上回っており、堅調に推移している。

●(一社)日本乳業協会は7月24日、ヨーグルトを日々の生活に取り入れ、猛暑に負けない体づくりを呼びかけるプロジェクト「夏の猛暑に、ヨーグルト」を始動した。今後もヨーグルトが持つ魅力や健康価値を消費者に伝えるため、業界が一丸となって積極的なPR活動や関連施策を推進することが重要と考えられる。

### 【家庭用バターの販売動向】

●家庭用バターの販売個数は、6週連続で前年同週水準を下回った。乳価引き上げに伴う製品価格の改定が影響していると見られ、販売単価は今年度最高水準を4週連続で更新した。今後も、価格動向とそれに伴う消費への影響について、継続的な注視が必要である。

≪参考≫消費拡大運動　JミルクHPリンク先↓↓
「土日ミルク」　https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html
「牛乳でスマイルプロジェクト」　https://www.j-milk.jp/news/h4ogb40000009qbz.htn

## 【牛乳類の販売速報】

(1)直近動向(表①参照)
・直近(7/21週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:100.9%、成分調整牛乳:94.8%、加工乳:94.6%、乳飲料:99.0%。
牛乳類トータルでは同100.1%
参考:2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳類トータルの販売個数は95.1%。

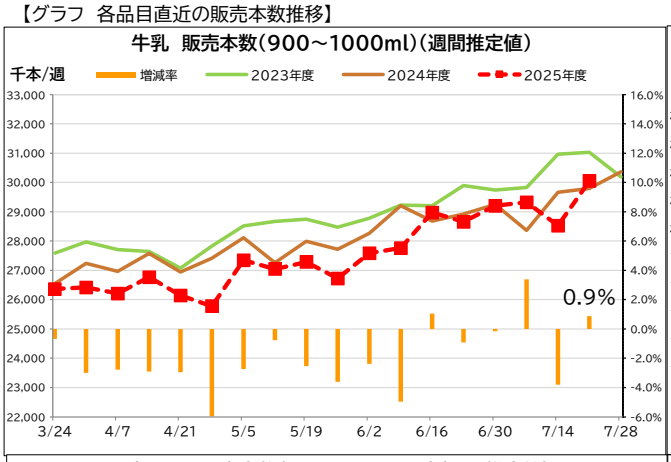
※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。
※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業　独立行政法人農畜産業振興機構　後援」

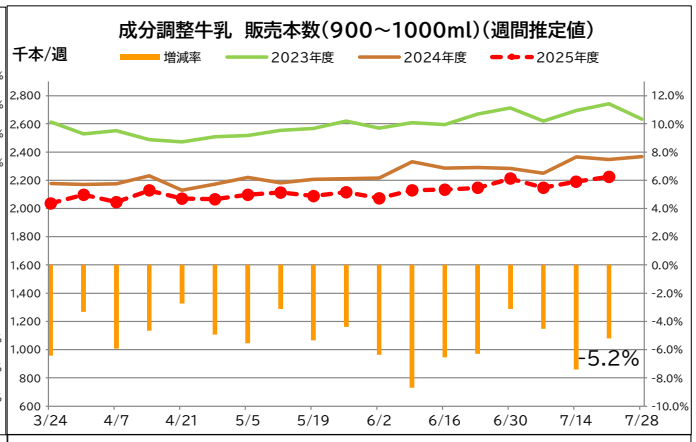
【表①　直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

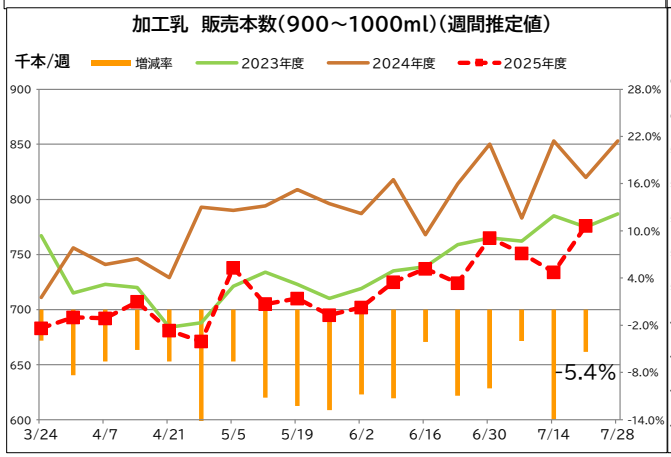
(単位:千個、円)

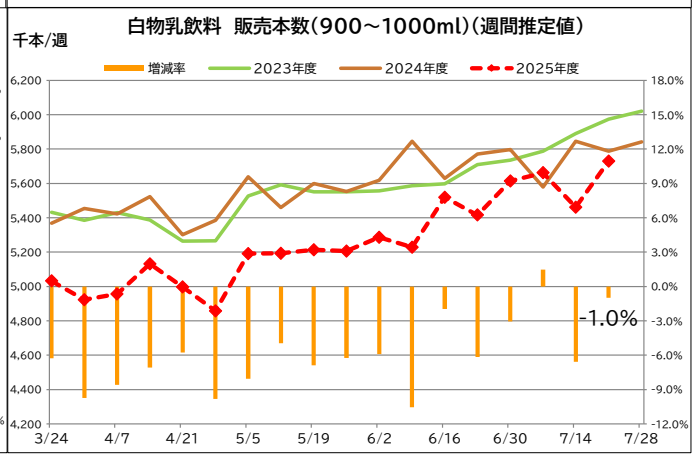
| 品目 | 区分 | 6.2- | 6.9- | 6.16- | 6.23- | 6.30- | 7.7- | 7.14- | 7.21- | 25.7.21-22.10.24 価格差 | 25.7.21-23.3.20 価格差 | 25.7.21-23.7.24 価格差 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| トータル | 販売個数 | 35,650 | 35,842 | 37,364 | 36,948 | 37,793 | 37,884 | 36,914 | 38,790 | | | |
| | 販売個数前年比 | 96.7 | 93.8 | 100.0 | 97.7 | 99.0 | 102.5 | 95.3 | 100.1 | 33.3 | 18.4 | 16.0 |
| | 販売単価 | 215.9 | 216.0 | 216.2 | 216.2 | 216.1 | 216.0 | 216.1 | 216.5 | | | |
| 牛乳 | 販売個数 | 27,589 | 27,760 | 28,974 | 28,662 | 29,201 | 29,323 | 28,528 | 30,060 | | | |
| | 販売個数前年比 | 97.6 | 95.0 | 101.0 | 99.1 | 99.8 | 103.4 | 96.2 | 100.9 | 35.0 | 18.7 | 17.5 |
| | 販売単価 | 224.6 | 224.6 | 224.7 | 224.7 | 224.9 | 224.7 | 225.0 | 225.3 | | | |
| 成分調整牛乳 | 販売個数 | 2,073 | 2,129 | 2,133 | 2,146 | 2,212 | 2,148 | 2,190 | 2,225 | | | |
| | 販売個数前年比 | 93.6 | 91.3 | 93.4 | 93.7 | 96.9 | 95.5 | 92.6 | 94.8 | 32.9 | 18.1 | 13.2 |
| | 販売単価 | 206.5 | 205.4 | 207.5 | 206.6 | 205.3 | 206.8 | 205.0 | 206.2 | | | |
| 加工乳 | 販売個数 | 702 | 725 | 737 | 724 | 765 | 751 | 734 | 776 | | | |
| | 販売個数前年比 | 89.2 | 88.7 | 95.9 | 89.0 | 90.0 | 96.0 | 86.0 | 94.6 | 29.9 | 20.0 | 10.0 |
| | 販売単価 | 223.3 | 223.3 | 224.5 | 223.4 | 223.0 | 223.8 | 223.0 | 223.0 | | | |
| 乳飲料 | 販売個数 | 5,286 | 5,228 | 5,519 | 5,416 | 5,615 | 5,662 | 5,462 | 5,730 | | | |
| | 販売個数前年比 | 94.1 | 89.4 | 98.0 | 93.8 | 96.9 | 101.5 | 93.4 | 99.0 | 23.5 | 13.7 | 9.0 |
| | 販売単価 | 173.3 | 173.8 | 173.9 | 174.0 | 173.9 | 173.6 | 173.5 | 173.2 | | | |

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】




## 【ヨーグルト類の販売速報】

(1)直近の動向(表②参照)
直近(7/21週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70～130ml):同90%以上、大容量タイプ(350～500ml):同105%以上(3品目合計販売個数は前年同期比90%以上)。
(2)前週(7/14週週)との実販売個素での比較では、3品目すべて増加した。
※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」

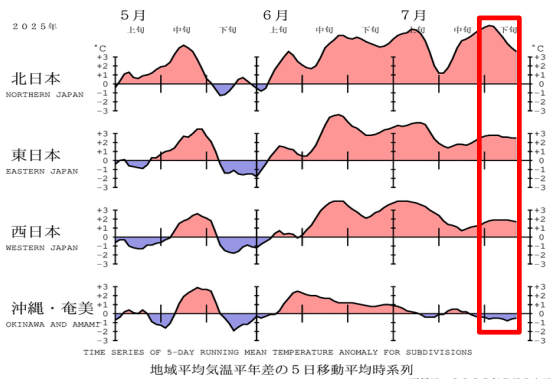
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

| 品目 | 6.2- | 6.9- | 6.16- | 6.23- | 6.30- | 7.7- | 7.14- | 7.21- |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ドリンクタイプ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ |
| 個食タイプ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ |
| 大容量タイプ | ↗ | → | ↗ | → | ↗ | ↑ | → | ↗ |

↘ :前年比90%未満
↗ :前年比105%以上110%未満
→ :前年比90%以上100%未満
↑ :前年比110%以上120%未満
→ :前年比100%以上105%未満
↑ :前年比120%以上

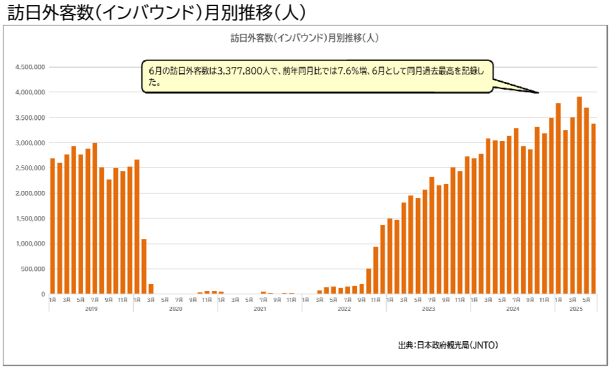
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減幅が大きいことを意す。

7/14週の気温経過 出典:気象庁




地域平均気温平年差の５日移動平均時系列
更新日：２０２５年７月３１日

訪日外客数(インバウンド)月別推移(人)




※「2025年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」